# 日本点字事情がわらい

## 2007年10月30日発行 NO.68

# 横浜市立

# 盲特別支援学校 点字研究部 文章 道村静江

1年半ぶりのかわら版の発行になります。この長い間の休止は何を意味するか。 それは、点字表記に関して基本的なことは変わらず、2005年度に職員研修用 に作成した47号~65号の資料がそのまま使えたからです。

今年度、**「試験問題の点字表記」**が改訂され、そういう内容も詳しく解説したいなあという思いと、校内の会議資料などの校正をやってみて、やはりいつまでも迷いのあるのが、**レイアウトと記号の使い方**だというのを実感したからです。 そういうのに焦点を当てて、もう一度コツコツと「かわら版」を書いていこう

と思いました。

# 会議資料・案内文の点訳 その1

### 1.文書初めの日付、会議名の書き方

通常、文書の頭に記載される右寄せの内容のことです。例えば

平成19年11月26日(月) 職員会議資料

2007年11月26日(月) 職員会議資料

この日付は、ていねいに書く必要はなく、略記を使います。しかもこの右寄せだけで2行も使いたくないし、簡単に済ませたい。すると、どういう工夫が考えられるか。右寄せは行頭10マス以上空けることが基本。できれば行頭12マスは空けて、右寄せの感覚をはっきりさせたい。(マス数を多く使う日付曜日の例)

もちろん年月日の日付は重ね数字(「20日」は通常「はつか」と書かなければいけませんが、略記にするとそのまま数字を書きます)、「平成」を取ってみたり、2007をアポストロフィを使って'07にしてみたり、「職員会議資料」を短くしてみても、25マス以上は使い、行頭は6 or 8マスしか空かない。すると、右寄せではなく、タイトルになってしまう。あきらめて、日付と会議名を2行に書くしか方法がない。しかし、次のような工夫も考えられます。

年月日・曜日が大事なら、会議名をあっさりと

つまり、このように短くする理由は、タイトルや本文の前に置くヘッダ的内容は簡単に読んでもらい、書類の整理に使うことが重要だということ。墨字では丁寧に書かれてあっても、短くていいと思うのです。

### 2.案内文の宛先、日付・発信所属・氏名

文頭の宛先は、左寄せ。日付・発信所属・氏名は右寄せです。

左寄せは、2マスあけが定番ですが、行頭マスあけなしでもよいでしょう。

右寄せは、もちろん10マス以上空けなくてはいけない。しかし、所属名がやたらと長くなる場合、この右寄せが何行にもなり、1頁目の1/3くらい占めてしまう場合もある。これも何とか短く省略したいけど、省略できない要素も多い。

保護者様

平成19年11月26日 横浜市立盲特別支援学校 校長 齋藤政和

(日付に 23 マス) へいせい **1** 1 9 ねん **1** 1 1 がつ **1** 2 6 にち (校名に 27 マス) よこはま しりつ もー とくべつ しえん がっこー (校長名に 19 マス) こーちょー さいとー まさかず

ちょっと見は、こう書けると思うでしょうが、問題は学校名です。27 マスもあって長すぎます。行頭5マスしか空きません。これらをすべて右寄せで書き表そうとすると、5行も使ってしまいます。

「横浜市立」を取りましょう。「盲特別支援学校」で通用するでしょう。そうすれば 19 マスになって、行頭が 12 マス空けられて、右寄せの感覚になります。 (県外への文書は「横浜市立」が必要で、校名が 2 行になりますね。) それに合わせると、日付を短くしたいですが、案内文書に略記はあまり使いたく

それに合わせると、日付を短くしたいですが、案内文書に略記はあまり使いたくありません。「平成」を取れば 18 マス。(西暦はそのままでもアポストロフィを付けても、マス数はOK)そうすれば、3行分のバランスもよくなります。

ほ┋ごしゃさま

■ 19ねん ■ 11 ™ がつ ■ 26にちもー とく ™ べつ しえん ■ がっこーこーちょー さいとー まさか ™ ず

■19ねん ■11 = がつ ■26 にちよこはま しりつもー とく垂べつ しえん ■がっこーこーちょー さいとー まさか垂ず

つまり、文書頭のヘッダ的内容は簡略に書き表す必要があるのです。

# 3.タイトルの2行目に気をつけて!必ず2マス下げる

タイトルは、行頭 4 マス以上あけます。でも、文書の途中に 4 マスあけはいく つも登場してきます。ですから、文書のタイトルは 6 マスあけが適当でしょう。 短いタイトルなら 8 マスあけでもいいですが。

しかし、ここで気をつけたいのが、6マスあけたタイトルが1行で収まらず、2行目に書かなければいけない場合です。「2行目以降のタイトルはさらに2マス落とす」つまり、2行目は8マス空けなければいけません。

⊡ぶんかさい・ りりょーさいの はっぴょー かいじょーに ついて

しかし、同じ2行に渡るなら、読みやすい語のまとまりにするのも工夫の一つ。

……ぶんかさい・ りりょーさいの はっぴょー かいじょーに ついて